

ミッション概要資料

開智高校（登城 拓真、 二澤 大輝、 藤原 佑樹）

<ミッションの目的>

初参加でもあり、モデルロケット及び缶サットの作成に際し、手探り状態での作業進行であった。そのため、今回のミッションの主な目的を、モデルロケット及び缶サットの基本動作確認とする。

[1] モデルロケットについて

製作したモデルロケットの上空への打ち上げ、缶サットの上空での放出、降下、着地を認める。問題点を洗い出し、次回への課題とする。

[2] 缶サットについて

打ち上げ、上空で放出、降下、着地を通して、缶サットが正常に動作することを確認することを、主な目的とする。気圧センサー、加速度センサー、気温センサーが正常に動作することを確認する。次回に向けて、データの収集を行う。

測定データに関して今回は、気圧センサーの測定値より高度を算出し、上昇時及び下降時の速度を概算する。

<期待される成果>

今回のミッションにおいて、独自の成果が期待されるものではない。しかしながら次回、オリジナルなミッション計画するための、必要な情報・ノウハウが得られたならば、我々にとっては、大きな成果であると考えている。